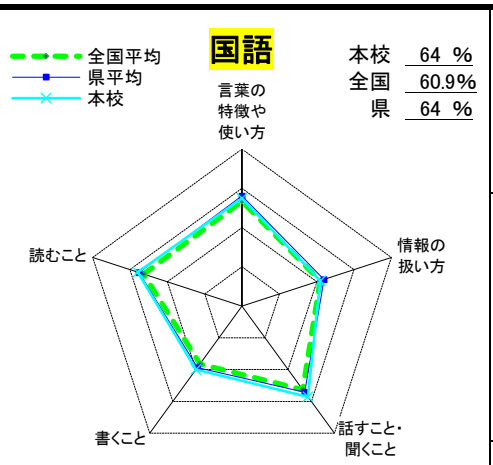
令和８年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立荘山田小学校
（片山中学校区）

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	＋６．０	＋５．０
令和８年度	＋３．１	＋６．６
令和７年度	＋１．２	＋２．０
令和６年度	＋７．８	＋４．６
令和５年度	＋４．８	＋５．５
令和４年度	－２．６	－５．２

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組　　◎･･･各学校　◇･･･中学校区



重点課題

◎引用して，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。（設問２四）【読むこと】（平均正答率 39.7%）

◇文章を読み取り，自分の考えを表現することに課題がある。

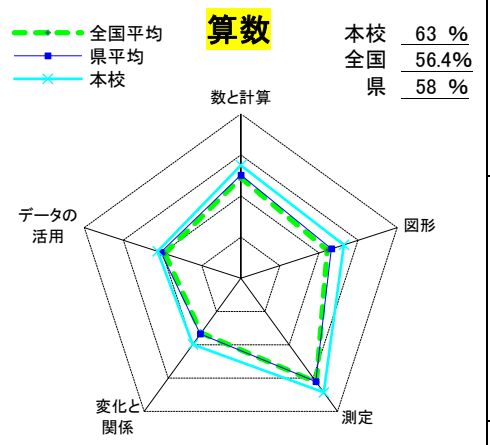
改善の方策

◎「読むこと」単元の学習において課題に対する自分の考えを表現する際に，「本文の○○という部分から，□□と思いました。」と考えの根拠となる記述を言わせる。根拠となる記述が言えなかった場合には，教師が，どの記述から考えたか問い返す。学年の実態に応じて，班での課題解決の際に，考えの根拠となる記述が曖昧な場合には児童同士で確認するよう指導する。また，自分の考えを記述する際に，複数の条件を満たすように記述させる学習活動を行う。

◇根拠をはっきりさせて，自分の考えを表現する活動を設定する。

検証

◎◇全国学力（設問２四）（第６学年２月）目標 60%→結果　%



重点課題

◎単位量あたりの大きさを求める除法の式の意味を理解し，その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断することに課題がある。（設問2(3)）（平均正答率 38.1%）

◇式や証明の意味を考えることに課題がある。

改善の方策

◎問題場面から立式する際に，問題場面を図に表すだけでなく ICT や具体物を活用したり，高学年においても必要に応じて簡単な絵で表したり，動作化したりするなどして問題場面を具体的かつ視覚的に捉えさせる。そして，分かっていることと求めることを整理し，何を求める式なのか，なぜその式で求められるのかということを言葉や図を用いて説明する活動を取り入れる。

◇何を求める式なのか，何を証明しているのかを説明させる活動を設定する。

検証

◎◇全国学力（設問 2(3)）（第６学年２月）目標 60%→結果　%

【来年度に向けて】